

患者氏名：\_\_\_\_\_

年齢：\_\_\_\_\_ 才 身長：\_\_\_\_\_ cm 体重：\_\_\_\_\_ kg

主訴： 患者が医療機関を受診する主な理由となる、最も気になる症状や困りごと。

患者の訴えの中でも、特に重要なもの。

例：腹痛、発熱、頭痛など、患者が医師に最初に伝える症状。

愁訴： 患者が感じる様々な不調や不快感の総称。

原因が特定できない漠然とした体調不良（不定愁訴）も含まれる。

例：「頭が重い」「体がだるい」「よく眠れない」など。

四診A：

●望診

①顔色 眉間を五色（青赤黄白黒）で判定。

②尺部 前腕内側。全身中、最も自然な色を保ち続ける部位。五色で判定。

●聞診

①五音 【角（舌）タ行】 【徵（歯）サ行】 【宮（喉）ア行】 【商（顎）カ行】 【羽（唇）マ行】

②五声 【呼（叫ぶ）】 【言（呟く）】 【歌（リズミカル）】 【哭（泣く）】 【呻（うめく）】

四診B：

●問診

①病歴

過去の病歴から現病歴まで含まれる。

②境遇

社会の中で患者を取り巻く一切の関係。めぐりあわせ。身の上。

③五味

【酸】 【苦】 【甘】 【辛】 【鹹】

④食欲

大小便(排尿と排便)のこと。

⑥睡眠

月経の事。

⑧体温

●切診

①腹診

前腕内・外側と下腿内・外側を診る。

③脉状診

【浮 沈】 【遲 平 数】 【虛 實】

④比較脉診

※最後に適応側を耳前動脈・臍の傍左右・中脉（胃気の脉）で決定する。